

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	新型インフルエンザ等対策事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課		新型インフルエンザ等対策事業			款	4	新規or継続	継続事業	
	係	感染症対策係					項	1	市単独or国庫補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	3131	名称		根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		新型インフルエンザ等対策特別措置法、佐野市新型コロナウイルス感染症対策本部設置要綱		事業期間	開始年度	平成20年	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり				終了年度	—	事業分類	健診・予防事業	
	施策	3	感染症対策の推進								
	基本事業	1	感染症対策の徹底								

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	新型インフルエンザ等発生時の感染拡大を防止するため、感染予防の対策を行い、感染予防の啓発や情報発信を行う。 また、新型インフルエンザ等対策行動計画に基づいて対策を整備するとともに、業務継続を行う職員等への感染を防ぐため、防護服等を購入備蓄する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・市民に対して、感染症拡大防止の徹底を図るとともに集団感染の発生を防ぎ、感染防止対策の徹底を図る。 ・業務継続を行う職員等への感染を防ぐために、防護服等必要な物資の備蓄を行う。	（3）目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		感染症対策に取り組む市民の割合	%	値が大きいほど良い	100	83.5	84.0	84.5	85.0
		防護服備蓄数	セット	値が大きいほど良い	10800	10800	10800	10800	10800
		防護服着脱訓練の実施回数	回	値が大きいほど良い	1	1	1	1	1

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・9月にインフルエンザ及び新型コロナワクチン予防接種に関するポスター等を作成し、広報さのへの掲載や市有施設に掲示した。また、市のホームページ、LINE、さのまる健康アプリ等へ掲載し、市民への周知を図った。 ・11月に佐野市健康まつりにて、感染症対策に関するリーフレットを配布した。 ・新型インフルエンザ等対策行動計画を踏まえて、8月に市職員を対象に防護服着脱訓練を実施した。 ・防護服セット1,350セット購入し、備蓄し、耐用年数を超過した防護服セットを1,650セット廃棄した。	（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
			感染症予防啓発の媒体数	件	14	5	7	8
			防護服購入数	セット	1,400	1,600	1,650	1,350
			防護服着脱訓練の実施回数	回	1	1	1	1
			事業費計	千円	4,323	3,986	5,215	3,021
			一般財源	千円	4,323	3,986	5,215	3,021
			特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0	0
			（うち受益者負担）	千円	0	0	0	0

（3）活動による効果

効果説明	・目標の防護服備蓄数及び訓練数を達成することができた。	（4）事業効果を説明する数値データの推移	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
			感染症対策に取り組む市民の割合	%	95.8	91.4	87.7	86.1	効果が下がった	×
			防護服備蓄数	セット	13,200	13,200	13,200	10,800	効果が下がった	○
			防護服着脱訓練の実施回数	回	1	1	1	1	効果は変わらない	○

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	2指標	目標達成	達成 未達成	効果		
	目標未達成だった指標数	1指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均 の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標				1指標	1指標
	効果は変わらない指標数	1指標					
	効果が下がった指標数	2指標					
	指標全体	効果が下がった					
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用は下がった			※ 1 0 万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

感染症予防の啓発や情報発信は引き続き実施するが、感染症対策に対する市民の関心が劇的に上がることはないと思われる。しかしながら、新型インフルエンザ等対策行動計画やガイドライン等の改定など、有事に備えた対策は適切に進めていく必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 引き続き、感染症発生時における感染対策の周知や防護服着脱訓練の実施、防護服の購入について継続していく。
---	---

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	新型コロナウイルス予防接種健康被害給付事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課		新型コロナウイルス予防接種		款	4	新規or継続	継続事業
	係	感染症対策係		健康被害給付事業		項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3132	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	2	義務or任意	義務的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	予防接種法		開始年度	令和6年	実施方法	直営
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	－	事業分類	現金等給付事業
	施策	3	感染症対策の推進						
	基本事業	2	感染症対応体制の充実						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	特例臨時接種で行われた新型コロナウイルス予防接種を受けたことによって、健康被害が生じたと厚生労働大臣が認定した方に、認定された病名が治癒するまで給付金を支払う。
------	--

（2）目的		（3）目標値		↓選択して下さい		後期計画			
目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	・市民に対して、感染症拡大防止の徹底を図るとともに集団感染の発生を防ぎ、感染防止対策の徹底を図る。 ・業務継続を行う職員等への感染を防ぐために、防護服等必要な物資の備蓄を行う。	効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		給付者数	人	値が小さいほど良い	2	2	2	2	2

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R7年度に 行った主な活 動内容)	厚生労働大臣が認定した2名の救済給付を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		給付者数	人	—	—	5	2
		事業費計	千円	0	0	48,119	1,080
		一般財源	千円			0	0
		特定財源（国・県・他）	千円			48,119	1,080
		（うち受益者負担）	千円			0	0

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果		（4）事業効果を説明する数値データの推移							
効果説明	厚生労働大臣が認定した2名の救済給付を行った。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		給付者数	人	－	－	5	2	効果が上がった	○

（5）目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	0指標			
	効果が上がった指標数	1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標	達成	1指標	
	効果が下がった指標数	0指標	未達成		
効果 （R7と過去3年平均の指標値増減）	指標全体	効果が上がった	目標未設定		
費用（R7とR6の事業費計増減）	費用は下がった	※10万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

厚生労働大臣が認定した5名のうち、2名が治療継続中のため、引き続き申請があれば速やかに救済給付を行い、国に負担金の申請をする。 また、新規申請者の手続き及び決定後の支払いも速やかに行う。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 引き続き、認定を受けた方に給付金を支払い、国に負担金の申請をする。
---	---

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	定期予防接種事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予 算 科 目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課			款	4	新規or継続	継続事業
	係	感染症対策係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3132	名称	事業 期間	目	2	義務or任意	義務的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		開始年度	昭和23年	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		終了年度	－	事業分類	健診・予防事業
	施策	3	感染症対策の推進					
	基本事業	2	感染症対応体制の充実					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	予防接種法に基づく定期予防接種の実施 接種方法：市内医療機関等での個別接種
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民が、感染の恐れのある疾病に対して免疫の効果をつけるワクチンを受け、感染症の発生及びまん延を予防する。	(3) 目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		1歳児（MR）の接種率	%	値が大まかいほど良い	95	95	95	95	95
		年長児（MR）の接種率	%	値が大まかいほど良い	95	95	95	95	95
		高齢者インフルエンザ予防接種接種率	%	値が大まかいほど良い	50	50	50	50	50

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・定期予防接種対象者へ接種勧奨通知の発送（MR2期、DT、日本脳炎2期、子宮頸がん予防ワクチン、高齢者肺炎球菌、带状疱疹） ・定期予防接種未接種者への接種勧奨通知の発送（MR1期・2期、DT、子宮頸がん予防ワクチン） ・学校の長期休暇前に子宮頸がん予防ワクチンのチラシ(医師会作成)を学校にて配布。就学前健康診断時は接種案内チラシの配布を行った。（各学校へ依頼） ・乳児全戸訪問時に予診票と予防接種の冊子を配布した。（こども家庭センターへ依頼） ・周知活動：広報紙、ホームページ、LINE、母子健康手帳アプリへ	(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移					
		活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		MR実施医療機関数（市内）	箇所	40	39	29	28
		高齢者インフルエンザ実施医療機関・施設数（市内）	箇所	47	67	78	83
		事業費計	千円	286,421	296,751	378,694	331,356
		一般財源	千円	285,205	295,717	337,311	###
		特定財源（国・県・他）	千円	1,216	1,034	41,383	458
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0	0

(3) 活動による効果

効果説明	接種率は、MR1期90.2%、MR2期91.4%、高齢者インフルエンザ52.3%であった。	(4) 事業効果を説明する数値データの推移							
		効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		1歳児（MR）の接種率	%	92.7	96.2	96.6	90.2	効果が下がった	×
		年長児（MR）の接種率	%	93.5	92.5	90.8	91.4	効果が下がった	×
		高齢者インフルエンザ予防接種接種率	%	56.7	53.2	50.0	52.3	効果が下がった	○

(5) 目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成 (R7と過去3年平均の指標値増減)	目標達成した指標数	1指標	効果 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった	目標達成 達成 未達成 目標未設定	効果 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった	1指標 2指標
	目標未達成だった指標数	2指標				
	効果が上がった指標数	0指標				
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	3指標				
指標全体		効果が下がった				
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和8年4月からRSウイルス感染症予防接種がA類疾病に位置付けられて定期予防接種となった。 市民へ周知はもとより医療機関等との連携も密にし、円滑な接種体制の整備と接種率向上に努める。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 引き続き、広報紙、市ホームページ、LINE、XなどのSNSを利用し、予防接種に関する情報を発信していく。
---	--

仕事の振り返りシート（令和7年度実施分）

事業名	任意予防接種事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約①	該当なし	市長公約②	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs		該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課				款	4	新規or継続	継続事業
	係	感染症対策係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	3132	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	令和3年	実施方法	一部委託
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	－	事業分類	健診・予防事業
	施策	3	感染症対策の推進						
	基本事業	2	感染症対応体制の充実						
				予防接種法、佐野市任意予防接種費用助成要綱					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	予防接種法に定める定期予防接種以外の予防接種を、市が行政措置として実施する。 インフルエンザ、おたふく、任意帯状疱疹、再接種に費用の一部を助成。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	予防接種の費用を助成し、より多くの方が接種することで、個人の発病又は重症化を防止し、そのまん延を防止する。	(3) 目標値	↓選択して下さい		後期計画				
		効果指標	単位	指標の性質	R7	R8	R9	R10	R11
		インフルエンザ予防接種助成延べ数	人	値が大まかいほど良い	7,600	7,000	7,000	7,000	7,000
		おたふくかぜ予防接種助成延べ数	人	値が大まかいほど良い	1,900	800	800	800	800
		任意帯状疱疹予防接種助成延べ数	人	値が大まかいほど良い	1,950	2,200	2,200	2,200	2,200

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R7年度に行った主な活動内容)	・対象の予防接種：インフルエンザ、おたふくかぜ、任意帯状疱疹 ・事業実施期間：おたふくかぜ、帯状疱疹については通年。インフルエンザについては令和7年10月～令和8年3月末まで。 ・周知活動：広報紙、ホームページ、LINE、市有施設、健康マイレージアプリなど	活動指標	単位	R4	R5	R6	R7
		インフルエンザ実施医療機関・施設数	箇所	47	54	53	51
		おたふくかぜ実施医療機関・施設数	箇所	－	－	21	18
		帯状疱疹実施医療機関・施設数	箇所	－	－	52	65
		事業費計	千円	17,162	15,794	41,090	42,891
		一般財源	千円	0	1,817	4,025	0
		特定財源（国・県・他）	千円	17,162	13,977	37,065	42,891
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0	0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明	接種延べ数は、インフルエンザ6,489人、おたふくかぜ768人、帯状疱疹2,199人であった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	R7	過去比較	目標達成
		インフルエンザ予防接種助成延べ数	人	7,843	6,986	6,679	6,489	効果が下がった	×
		おたふくかぜ予防接種助成延べ数	人	－	－	1,178	768	効果が下がった	×
		任意帯状疱疹予防接種助成延べ数	人	－	－	1,933	2,199	効果が上がった	○

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

(5) 目標達成、効果、費用増減（自動判定）

目標達成	目標達成した指標数	1指標	効果		
	目標未達成だった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果 (R7と過去3年平均の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	目標達成	達成	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標		未達成	
	効果が下がった指標数	2指標	目標未設定		2指標
指標全体		効果が下がった			
費用（R7とR6の事業費計増減）		費用が増加した	※ 1 0万円以上の増減により判断		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和7年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

おたふくかぜワクチンの流通不足により、接種できなかった人に対して、R8から2年間特例措置を設けることとなった。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和8年度及び9年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成） ☐ 事業費の見直し検討（新たな歳入確保・受益者負担含む） ☐ 業務の効率化・高度化（デジタル化）検討 ☐ 業務の効率化（デジタル化以外の業務手順・手法の見直し）検討 ☐ その他の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明	引き続き、広報紙、市ホームページ、LINEなどのSNSを利用し、日頃の感染予防対策に関する情報を発信していく。また、予防接種助成の情報発信も行っていく。
--	------	--